



身近でできる福祉学ぶ

枝幸中 NPO 所長が特別授業

【枝幸】枝幸中(長末好弘校長)は5日、1年生44人を対象に、道の福祉教育アドバイザーを招いた授業に初めて取り組んだ。生徒たちは、自分にできる福祉とは何か考えた。

福祉教育アドバイザーは、道が福祉、介護などの専門家を学校の要請で派遣する制度。NPO法人当別町青少年活動センターのうゆう24所長の大原裕介さんが講師を務めた。

大原さんは、自殺未遂を繰り返す子どもと、かかわった経験を紹介。算数が苦手という自分の弱さを友達に話した時、笑われ、いじめられたことが原因だ

ったとし、「もし友達が不安や悩みを打ち明けたら、自分も弱さを話して受け止めることが、みんなにできる福祉活動」と話した。

大原さんの授業は一

人一人に話しかけるよううで、生徒たちは真剣な表情で聞いていた。

(寺林正郁)